



R I. 第2620地区 静岡第2分区  
三島西ロータリークラブ

# 週報

第2160号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F  
TEL(055)976-6351 FAX976-6352  
例会場 静岡県三島市本町6-35 呉竹  
TEL(055)975-3210  
会長 佐野 宏三 幹事 前田 博利



広重版画より 三島 朝霧

## 第2224回例会

2018.10.11晴

司会 花房孝光君

ロータリーソング 「我等の生業」  
指揮 柴崎恵子君

会長挨拶 会長 佐野宏三君

皆さんこんばんは。紅葉の季節には、まだ早いのに所々の街路樹や庭木が塩害で茶色に変色しています。台風24号の強風で駿河湾の海水が三島まで飛んでくるなんて、想像もしていませんでした。ことわざに「風が吹けば桶屋が儲かる」意味は違いますが、ガソリンスタンドは洗車のお客さんで大忙しでした。

さて、10月24日は世界ポリオデーです。世界中でポリオ撲滅と啓蒙運動にロータリー、世界保健機構、ユニセフを中心にして、音楽会・映画の上演会や講演会、募金活動等様々なイベントが開催されます。第2620地区では当日の静岡新聞と山梨日日新聞の朝刊一面全部を使って、地区の各クラブポリオ撲滅運動に取り組んでいる様子を写真付で掲載します。

現在、日本では昭和55年を最後にポリオは発生していません。「ポリオ」の言葉も知らない世代もたくさんいます。その世代の人達は生ワクチンの投与や腕には三種混合、四種混合の予防接種、いわゆるハンコ注射の跡が残っています。この予防接種の費用は無料、すべて我々の税金でまかっています。還暦をすぎた年代には、ポリオより小児麻痺と言った方がわかりやすいと思います。そして同級生や周りで不幸にも小児麻痺に罹った人を知っているはずですよ。

10月13日(土)13時よりイトーヨーカドー三島店の北側で当クラブ、三島RC、せせらぎ三島RCの3クラブ及び日大三島、知徳高校のインターアクトと合同でポリオ撲滅の募金活動とロータリーの取り組みをPRします。

また、ガバナー事務局へ参加した会員数、イベントの内容、反響、募金額の報告書の提出があります。あまりみっともない報告書は書きたくありません。会員皆様方のご支援、ご協力をお願いします。ぜひイトーヨーカドーに足を運んでください。

### 出席報告

	出席総数	出席率	メンバーアップ	修正出席率
前々回	32/38	84.21%	33/38	86.84%
今回	35/43	81.40%	会員総数	46名

欠席者 赤池君、芦川君、大石君、椋山君、鈴木(正)君、諏訪部(照)君、藤江君、古屋君

### 幹事報告

幹事 前田博利君

- ①多治見西RC友好クラブについて、友好クラブに向けた関係は継続したいが、正式調印に関しては反対の意見があるようです。今後も苗栗RCの式典を中心に友好関係を続けて行きます。
- ②10月13日土曜日、3クラブ合同ポリオ撲滅活動を13:00よりイトーヨーカ堂にて開催致します。参加協力を宜しくお願い致します。また、ご参加出来ない方は募金のご協力を宜しくお願い致します。
- ③10月21日、日曜日、見晴フェスティバルが開催されますが、雨天は中止になります。例会も中止となります。また、事前準備を10月20日の土曜日に、13:00~15:00迄、北上文化プラザにておこないます。ご参加宜しくお願い致します。
- ④10月28日 地区大会参加の皆様、6:50三島駅前、鈴木学園出発となります。

2018~2019年度  
国際ロータリー会長  
バリー・ラシン

インスピレーションになろう

## 卓 話

### 自己紹介～プロフィール～

松本邦夫君

皆さん今晩は。

今年1月に新規入会し、初めて皆様の前での卓話となりますので、自己紹介 ～プロフィール～ の題にてお話しさせていただきます。

生まれや育ち、そして、今なぜ三島に来ているのか、といったこととお話したいと思います。

生まれは、1955年 昭和30年 9月2日です。今年で63歳になりました。

皆様ご承知の通り、まさに昭和の高度成長期に合わせて育ってきました。

東京オリンピックや大阪万博といった、日本の象徴的なイベントが開催されている時期に小学校・中学校生活を送りました。生まれた場所は東京ですので、東京オリンピックに向けて様々なインフラ整備が加速しているときでもありました。

さて、生まれたところの話を少々いたします。生まれは、東京都足立区の千住というところ。場所的に申し上げますと、東京駅や日本橋といった中心部からみますと、上野や浅草の先で、ほぼ北側にあたります。

この千住という街は、元々日光街道で江戸を出た最初の宿場町になります。同じような宿場街は、東海道では品川、甲州街道で新宿、中山道で板橋となります。

皆様の中では、千住という「北千住」のこと？ あるいは「南千住」のこと？ と思われる方もいらっしゃると思います。実は、北千住のことなのですが、この「北千住」は駅名だけで、住所上は「千住」のことを指しまして、「北千住」という地名はありません。したがって、私たちはいつも「千住」と言ってしまうのですが、一般的に言われている名称で行けば「北千住」になりますでしょうか。

この千住という場所は、交通の要の位置になっています。鉄道で言いますと、JRでは水戸方面へ行く常磐線。常磐線の新線の位置づけである、つくばエクスプレス。地下鉄では、日比谷線と千代田線。私鉄では、東武線と北千住とは違う場所に駅はありますが京成線などが通っています。大きな乗換駅でもあり、乗降者数は都内でも有数の多さとなっています。

また、高速道路では、東北道と常磐道への分岐される場所が千住にある小菅JCTです。ですから、東北道や常磐道へ抜けるには、皆さん千住を経由していると思います。また首都高速では、都心部に抜ける向島線、高速中央環状線を東から南へ行けば東関道へ抜ける葛西方面、西から南へ向かえば中央道や東名高速へアクセスすることができます。

実は千住は江戸時代には日光街道と水戸街道との分岐点でした。千住からまっすぐ北へ向かうのが日光街道であり、東へ折れていくのが水戸街道でした。そのため、現在の高速道路も北の東北道と北東への常磐道が分岐する

場所になっています。

小学校・中学校は千住の中で過ごし、高校は白鷗高校という下町の生徒が集まる高校へ通ってありました。当時の学区は、中央区・台東区・荒川区・足立区が一つの塊でしたので、みんな下町の人間です。中央区とえば、銀座に住んでいる者もいれば、台東区の人間は上野やアメ横で商売をしている家の子息、代々浅草育ちの典型的な下町人間、場合によっては吉原に住んでいる者、などと一緒で過ごしていました。因みに、この白鷗高校とは白いカモメと書き、元々は東京府立第一高等女学校。つまり、元は女子高校でしたので、私の頃も女子が6割以上おりました。

さてその後ですが、大学は横浜国立大学・工学部へ入学いたしました。

学科は「安全工学」という新しい分野です。この学科は、それまでの高度成長期において経済成長が最優先されたことから、その副作用で安全面や環境面での対応が疎かになっていたため、公害が発生したり、火災・爆発といった産業安全対策・労務災害防止などの不備などが指摘されていたことに対して、それらの問題への対処を工学的見地からの産業安全研究を進める趣旨で設置されたものでした。実は、大学受験当時の私は、別の学科を志望しておりましたが、ある時、この安全工学に関係する親戚の方から、「これからの時代に必要な学問だから、受験してみてもどうか」との勧めを受けて、横浜国大の安全工学に進学した経緯にあります。

この時まで、こうした学問があることすら知らなかったのですが、これは私にとっての大きな転換点になった気がします。

と申しますのは、大学に入学した後、よくよく自分の特性を見つめてみたとき、工場や研究室での理系の研究は、自分にあまりあっていない気が付いたのです。若気の至りです。しかし、「安全工学」という学科は、もちろん理系の工学部ですから、就職先では理系の職種も多かったのですが、水質・大気環境汚染対策関連や、消防研究所、労働基準監督署などの他、損害保険業界との繋がりもあったのでした。そのような中で、私の卒論のテーマは「防火」に係るものでした。

実は、ゼミでの指導教授が損害保険業界でも有名な方で、とりわけ「工場・プラント防災、火災予防」といった分野での専門家でした。なぜこのような専門分野が損保業界と繋がりがいいのか申しますと、損保商品の中でも大きな柱である火災保険、特に企業向けの火災保険との関連です。

損保各社は、事故の時に保険金の支払いにより企業向け火災保険を活用してもらうのは勿論ですが、事故そのものを減らす、あるいは軽減するリスクマネジメントの観点から、企業に対しての防災・防火コンサルも行っています。その為の、専門知識も必要になってきます。

今でもその伝統は継続しておりますが、近ごろでは、自動車安全・交通事故軽減コンサルを始め、各種賠償責任対策や、BCP/BCM(Business Continuity Management事業継続マネジメント)、労務管理、情報セキュリティなどなど、幅

広い領域のコンサルが増えてきています。

話を戻しますと、防火・防災を学んでいたお陰で、私はいわゆる理系の職種ではなく、損害保険業界へ就職することになりました。

就職先は、今は合併統合してしまいましたが、同和火災という関西系の会社でした。

この同和火災は、金融自由化のなかで、2001年に日本生命の損保子会社(ニッセイ損保)と合併しニッセイ同和損保となり、さらに2010年には千代田火災と大東京火災が合併してできていた会社・あいおい損保と2度目の合併を行い、あいおいニッセイ同和損保になり、現在に至っております。

さらにこの時、三井住友海上とホールディンググループを結成して、MS&ADホールディングスの完全子会社となった経緯にもあります。

私は同和火災に入社したときは、「防火・防災」を勉強してきたことから、火災保険とりわけ企業分野の火災保険の商品開発や適正な引き受けを営業に指導する業務部という部署に配属されました。以降、その分野において会社の中核を担ってきました。

そのような中で、また新たな転機を迎えました。それは、労働組合への専従出向でした。労働組合の組織は、企業ごとに組織している「単位組合」が基本の単位であります。その単位組織が産業ごとに集まって組織する「産業別労働組合」つまり産別組織があり、それらがすべて集合した全国組織が「連合」(日本総労働組合連合会)となっていきます。

私は、このうち、同和火災の企業内組織「単組」の委員長を1年、そして損害保険業界の産別組織「損害保険労働組合連合会(損保労連)」の委員長を3年務めました。

同和火災の労働組合の委員長に1994年に就任したのですが、1990年ごろからのバブル崩壊後の極めて難しい時代に入ったところで、従来の労働組合の役割、つまり賃金闘争が終焉を迎えようとしている時代でした。さらに、金融の自由化の議論が始まったときでもあり、労働組合の役割を変えていかなければならない時でした。また、この時に、阪神淡路大震災が発生しました。1995年1月17日のことです。損害保険業界にとって、過去にない大規模な自然災害の始まりでした。

そして、1995年には、損害保険労働組合連合会、いわゆる損害保険業界のほぼ全社の企業労働組合が加盟する産別組織へ移り、以降3年間1998年まで委員長を務めました。

この時はまさに金融自由化に向けて大きく動いている真ただ中でした。

損害保険業界に働く社員の将来をしっかりと決める重要な時代だったと言えます。そのなかでの委員長は本当に重責でありました。

金融の自由化 ～金融ビッグバン～ は、保険業界に対して、海外からはマーケットの開放圧力、社会の要請である商品・保険料の自由化、生・損保、銀行・証券等の相互参入など、一気に改革を求められていた時でした。この時の改革以来、海外資本の流入、他産業からの保険業界への参入、商品と保険料の自由化が急速に進展来ています。

こうした中で、各社の経営はもとより、大蔵省などとの行政対応、対外的な各産業の労働組合(いわゆる保険の消費者、自動車総連など)への対応など、広範囲に産業対策を行った記憶があります。この時の様々な経験は、私にとって大きな財産になった気がします。保険業界や金融業界にとって、忘れられない時代でした。

1998年に会社に戻った後は、2度の合併を経験するなど、目まぐるしい変化を経験しつつも、企業顧客を取引先とする企業営業分野や、入社以来長く勤めていた損保商品の開発・販売管理などを行う業務分野などに勤めてきました。

そうしている中で、私も57歳になっていた時です。

本社での業務部門の理事・部長であった2013年に、三島への出向の打診を受けることになりました。まだラインの役職を継続できる年齢でしたが、定年は60歳ですので、もう目前に迫っておりました。サラリーマンである私にとっては、当然、60歳以降の仕事も含めて、一定の決断の時期に来ていたことも事実です。

そんな時の新たなご縁であり、大きなチャレンジへの打診だと受け取りました。

それまで勤めてきた会社からの社外出転や転居、ましてや、保険の代理店での業務は全くの未経験でしたし、私自身にとって大きなチャレンジだったのです。勿論一人暮らしも初めてです。

しかし、同じ環境をそのまま続けるよりも、新しい環境で自分をもう一度新鮮な気持ちにリセットし、ブラッシュアップできることは有難いことであると考えました。

当初は保険会社に籍を置いたまま、出向という形で静岡東部代弁へ参りました。そして、2016年には保険会社での定年を迎え転籍となり、現在に至っております。なお、こちらに来る時に、妻と子供に「三島に転勤になった」と伝えたところ、「行ってらっしゃい」の一言でした。誰も止めてくれませんでした。寂しいような、しょうがないような…

以来5年以上、单身生活を送っております。これまた、寂しいような、気楽のような… もうすっかり慣れてしまいました。

いずれにしても、三島の生活は大変気に入っております。何といっても、好きなゴルフの回数がたくさん増えました。東京では、朝早くから出かけ、1時間半や2時間かけていくことが当たり前でしたから、ゴルフをするにも大変です。

この月曜日も、ゴルフ同好会コンペに参加させていただきましたが、ゴルフ場まで30分です。会社への出勤時間より遅く家を出られます。幸せです。

今では、東京の友達や元同僚が何回も三島に来てくれます。みんな気に入っています。ゴルフをやって、美味しいものを食べて帰ります。

最近は、東京へ帰るのがもったいないような気がしてきます。できれば、こちらでゆっくり過ごすことができれば、などと考えている今日この頃です。

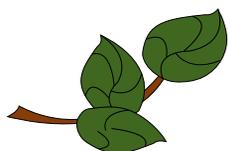
もうしばらくは、こちらの三島に居させていただく予定です。三島の生活を楽しく、そして充実して過ごして参りたいと心より思っております。ロータリーの皆様にも、これからもご指導・ご支援いただき、そして仲良くしていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## おめでとう

会員誕生日	窪田君、関本(照)君、 遠藤(武)君、木村君
入会記念日	諏訪部(敏)君、矢野君、 窪田君
奥様誕生日	諏訪部(敏)君、西本君、 関本(照)君、前田(邦)君、 前田(博)君
結婚記念日	亥角君、木村君

## スマイルボックス

- ◆須田君、何と、10日間で4回のゴルフコンペ優勝を果たしました。関本文彦さんにクラブ選びのアドバイスを戴いたおかげです。
- ◆諏訪部(敏)君、久しぶりです。まだ生きています。
- ◆窪田君、京都からのお客さんがきているので早退させていただきます。
- ◆10月8日(月)に佐野年度第2回目のゴルフコンペを、フジ天城ゴルフ倶楽部にて開催しました。優勝亥角さん・準優勝矢岸さん・3位宇田川さんでした。次回は11月29日(木)にリバー富士カントリークラブで行います。



## ROTARY NEWS

### 世界ポリオデーイベントを ライブストリーミングで観よう

今年のロータリーの世界ポリオデーイベントは、10月24日に米国フィラデルフィアで開催されます。とはいえ、わざわざフィラデルフィアに足を運ぶ必要はありません。フィラデルフィア現地時間の午後6時半から(日本時間の25日午前7時半から)、お使いのパソコンやスマートフォンでライブストリーミング(ネット中継)でご覧いただけます。イベントの録画も、後日 [endpolio.org/ja](http://endpolio.org/ja) からご視聴いただけます。

今年のライブストリーミングは、日本語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語の同時通訳つきでご視聴いただけます。イベントの会場は、アメリカ医学発祥の場所と言われる College of Physicians of Philadelphia。米国で最も古い医学系団体でもあります。

イベントでは、世界保健の専門家やロータリーのポリオ撲滅大使を務める有名人らが、ポリオのない世界に向けた目覚ましい進展について語ります。ロータリーのVR(バーチャルリアリティ)動画の最新作「Two Drop of Patience」で主役を務めるペイシェンス・アシムウェさんによる本作品の紹介のほか、ロータリーによるドキュメンタリー「Drop to Zero」(ゼロになるまで)の一部映像が初公開されます。Time誌のシニア編集者であるジェフリー・クルーガー氏は、ポリオ撲滅活動の取材でロータリーとともにナイジェリアに赴いたときの経験を語ります。さらに、今年30周年を迎える世界ポリオ撲滅推進活動(GPEI)の祝賀も行われます。

(週報担当:米山 寛)